

審査結果報告書

2022 年 1 月 26 日

主 査 氏 名

門内康雄



副 査 氏 名

天野 美樹



副 査 氏 名

岡本浩司



副 査 氏 名

東條 美奈子



1. 申請者氏名 : DM18012 佐藤 哲郎

2. 論文テーマ :

心房細動カテーテルアブレーション後の再発予測に関する臨床研究

3. 論文審査結果 :

心房細動(Af)は日常臨床でよくみられる不整脈である。Af は心不全、脳卒中、心臓突然死を増加させ生命予後悪化因子となるが、高齢化もあり有病率が増加している。近年 Af 治療ではカテーテルアブレーション(CA)が主体であるが、やはり問題となるのが治療後再発である。申請者は日常臨床での真摯な観察から2つの検討課題を設定した。第一に Af 再発の予測因子の検討である。本分野の研究に関わる多くの医師が知りたいと考える重要点である。これまで左房伝導時間の遅延が関連していることは知られていたが、申請者らは右房伝導時間遅延も注目すべき点であることを見出した。結果提示のみでなく伝導特性と電気的、構造的リモデリングの関連考察も論じられている。第二に CA 治療後に行われる不整脈誘発試験の是非の考察である。同試験は CA のエンドポイントを決定するために一般的に行われているが CA 後の Af 再発への関連性については十分に検討されておらず臨床上、重要な問題である。本研究の結果では誘発群と非誘発群で Af 再発の有意差は見られていない。しかし申請者は十分な考察のうえに心筋への損傷を考えて大規模研究などでの結論がでるまで不必要な誘発は避けるべきと自身の考えが述べられていた。本臨床研究の目的、対象患者選択の適性、評価方法や統計解析の適切さ、考察の内容から申請者の不整脈とその治療に関する電気生理学の学問的背景が十分であることが伺える。申請者による発表後、副査および主査から広範な質問が出されたが、おおむね適切に回答し申請者の学識の高さを示した。副査および主査は学位論文の内容に加えて、質疑応答の適確さから、医学博士の学位に相応しいと判断した